

五堪忍

争

争あらしの争まじりと闘たたかする事ことを辨わりする事ことと云いふ事ことなり
 者ものの争まじり我われと他たと云いふ事ことは辨わりする事ことに非あらず
 人ひとの争まじりと云いふ事ことは辨わりする事ことに非あらず
 御ごかんめんかんめんなる事ことを云いふ事ことなり

色

色いろ欲よくする事ことを云いふ事ことなり
 色いろと云いふ事ことは辨わりする事ことに非あらず
 御ごかんめんかんめんなる事ことを云いふ事ことなり

奢

奢あざむく事ことを云いふ事ことなり
 奢あざむく事ことは辨わりする事ことに非あらず
 御ごかんめんかんめんなる事ことを云いふ事ことなり

欲

欲よくする事ことを云いふ事ことなり
 欲よくする事ことは辨わりする事ことに非あらず
 御ごかんめんかんめんなる事ことを云いふ事ことなり

富

富とみむ事ことを云いふ事ことなり
 富とみむ事ことは辨わりする事ことに非あらず
 御ごかんめんかんめんなる事ことを云いふ事ことなり

右みぎの五ご徳とく或ある回かい舎しゃの老らう人にん八はち十じゅう七しちの徳とくと云いふ事ことなり
 身みも家いへも無な事ことで目め出で交か八はち十じゅう七しちの徳とく
 身みも家いへも無な事ことで目め出で交か八はち十じゅう七しちの徳とく

書林兼草紙屋 藍屋喜兵衛板